

令和5年度 第3回 政策決定会議 会議録③

-
- ◆開催日時：令和5年8月30日（水） 16：46～17：06
 - ◆開催場所：第2委員会室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、波積副市長、大下教育長
 - ◆説明者：牟田生涯学習部長、井出生涯学習課長、加柴調整・生涯学習推進担当主幹、畑部公民館担当長、田中担当員
-

◆審議事項

岸和田市立公民館及び青少年会館再編第1期実施計画（案）について

・・・・・・生涯学習部生涯学習課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉19館ある公民館のうち、複合施設である市民センターを除いた14館は指定避難所に指定されているが、耐震性に不安がある施設に市民を避難させるのは問題である。災害対策としても喫緊の課題となっているので、速やかに進めてほしい。

〈波積副市長〉案としては考え得る中でベストなものになっている。一方で、少なくとも避難所にもなっている耐震性がない施設については可能な限り使わないようにする必要がある。耐震性の有無を施設使用のデッドラインとして考えるべきである。

〈教育長〉外部に向かっては、シンプルでわかりやすい説明原理が求められる。耐震性がない施設では南海トラフなど大規模地震等が起こった時に命が守れない、使い続けるべきではないので速やかに廃止する、ということを基本に説明をすべきである。これから議員、あるいは市民に説明する際も、その点に重きを置いて説明していきたいと思っている。

もう一点大事なこととしては、施設を無くすばかり、再編するばかりでは、施策の後退だと捉える市民もいる。計画に、多機能トイレの設置やバリアフリーに係る記載もあるので、特定の施設に限らず全ての施設において、ソフト面だけではなくハード面も必要な改善を加えていくことを十分説明していく。

〈市長〉この計画の実践にあたり、市議会の議決が必要な部分はあるのか。

〈教育長〉公民館及び青少年会館の設置、管理等に関する条例には、個別の公民館名が記載しているので改正が必要である。また、取り壊すとなった場合に予算が必要になる。これらについては議会の議決がないと計画は進められない。ただ、耐震性がない中で施設の使用は続けられないので、計画を進められない場合でも供用は停止する。

〈市長〉最も危惧しているのは、施設が危険な状態のまま使用され続けること。耐震性のない施設は供用を停止するという姿勢を徹底してもらいたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和 5 年 8 月 10 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市立公民館及び青少年会館再編第1期実施計画(案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年3月に策定した「岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針」に基づき、具体的な再編の方針やスケジュール等を示す実施計画の策定を行う。
説明者	生涯学習課 井出課長 畑部公民館担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和5年度 第3回会議
付議事項	岸和田市立公民館及び青少年会館再編第1期実施計画(案)

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	公民館及び青少年会館を求められる役割や社会情勢を見据え再編し、市民一人ひとりにおける学習活動の促進、住民主体のまちづくりを「学び」を通して促進すること。

★総合計画上の位置付け

1050102	基本目標	岸和田の次世代を育むまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている
	個別目標の方向性	① 様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する
	行政の役割	多くの市民が学べる環境(場)を整える

★現状と課題

令和3年3月に持続可能で安全な施設運営を確保するとともに、将来にわたって市民一人ひとりの学習活動の促進を図り、住民主体のまちづくりを「学び」を通じて促進していくことを目的として「岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針」を策定しました。再編基本方針に基づき、具体的な公民館等の再編の方針やスケジュール等を示す実施計画として「岸和田市立公民館及び青少年会館再編第1期実施計画(案)」を策定するものです。
第1期実施計画(案)では、老朽化の進行や耐震性能が欠けていることによって利用の安全性を確保することが難しい公民館等及び、近隣に公民館等と同種・類似の機能を有する施設があり、機能集約によって施設の安全性の確保や機能の向上を図ることができるものの再編に取り組みます。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
政策調整会議 【令和5年8月23日】									
政策決定会議 【令和5年8月30日】									
地域説明会 【令和5年11月～】									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費	計			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
			0	0	0	0	0	0	

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値					
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。